

人口減少社会における中国地方の歩み方 ～農山村における暮らしのあり方について～

島根大学教育学部 作野 広和

1. はじめに ～研究紹介～

- ・別紙ご参照

2. 人口減少社会における中国地方の可能性と課題

- ・たたら製鉄：持続可能な暮らしのあり方 ←→過疎化を誘発
- ・かけがえのない田舎暮らし ←→田舎暮らしに対する誇りの喪失
- ・都市と農山村のバランスのとれた暮らし ←→都市への不可逆的な流出

↓

中国地方は全国のお手本になれる地域

3. 地域づくりの必要性：あたりまえに行われていた地域の暮らしを今日的に取り戻す

- ・地域間の多様性：都市と農山村の役割分担→「かっこいい田舎」
- ・地域内の多様性：「みんな違って、みんないい」→多様な主体：高齢者，子ども，障害者
- ・農山村：フルセットの限界→キーワードは「合わせ技」

4. 地域づくりの手法：「ありのままの地域づくり」と「半歩前の地域づくり」

- ・「ありのままの地域づくり」：現在の暮らしを維持することが最も大切
 - ※「活性化」と言った時点で、何らかの尺度に乗せられる⇒競争が生まれる
- ・環境は変化→多少の努力や知恵・工夫は必要：「半歩前の地域づくり」
 - ※「一歩前」はきつい（がんばれる地域はがんばる）

5. おわりに ～新たな価値の創造～

- ・全国動向に追随しない中国地方オリジナルな価値を創造 → 発信
- ・広域地方計画はそのためのグランドデザイン

作野広和 島根大学教育学部共生社会教育講座 教授

1968年島根県松江市生まれ。専門は農村地理学，過疎・中山間地域論，GIS研究。

日本地理学会代議員，地理科学学会評議員，地域地理科学会編集委員。

総務省（委託）地域における生活支援サービス提供に関する研究会座長，総務省過疎問題懇談会集落対策ワーキンググループ構成員，農林水産省鳥獣害対策アドバイザー，島根県中山間地域研究センター客員研究員，兵庫県豊岡市地域コミュニティアドバイザー 等

地域を捉え，地域で学ぶ研究室

作野広和（島根大学教育学部） 島根県内活動拠点

1

小規模・高齢集落と向き合う「松平ラボ」

2009年7月に、江津市松平（まつひら）地区に研究室の分室「松平ラボ」を開設しました。地域づくりへの参画をモットーに地域住民と協働の活動を展開しています。松平地区の皆様を支えられ、多くの人材を育てることができました。



2

政策一体型の研究室分室「邑南ラボ」

2014年7月に、邑南町役場の一室に「邑南ラボ」を開設しました。役場庁舎内のラボとして、邑南町の政策とタイアップした活動を行っています。とりわけ、島根県立矢上高等学校については、将来ビジョン策定委員長として関わっています。



3

奥出雲町：たたら製鉄による集落の成立

2014年3月に、「奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観」が中国地方初の国重要文化的景観に指定されました。たたら製鉄は中国山地の多くの集落の成立と存続に深く関わっています。奥出雲町文化的景観調査検討委員会委員として関わっています。



4

飯南町：人でつなげる国道54号線

自動車専用道路である松江道完成後の国道54号線のあり方について検討しています。「人でつなげる54号線」をキャッチフレーズに、町内の人や組織の連帯を模索中。国道54号線活性化アクションプラン推進協議会会長として関わっています。



5

吉賀町：教育のあるべき姿の検討

吉賀町では、学校教育のあるべき姿を根本的に考える議論がスタートしました。児童・生徒数が減少したから学校を統廃合するのではなく、吉賀町の将来を見据え、学校教育がどうあるべきかを検討中です。活力ある学校づくり検討委員会委員長として関わっています。津和野町では左鏡小学校（児童数6名）存続のための支援活動を行っています。



<ご連絡先> **作野広和** 島根大学教育学部共生社会教育講座地理学研究室

〒690-8504 松江市西川津町 1060 Tel & Fax : 0852-32-6107 Mobile : 090-2006-9162

E-mail : hsakuno@edu.shimane-u.ac.jp

文化的景観調査報告会

奥出雲町の集落とたたら製鉄

-たたら製鉄とともに生きた奥出雲の人々の暮らし-



《日時》 2015年2月15日(日) 13:30~15:30

《会場》 奥出雲町三沢公民館 (島根県奥出雲町三沢 383)

《内容》

報告1 奥出雲町の集落とたたら製鉄に関する地理的分析

島根大学教育学部教授 作野 広和氏

報告2 奥出雲町における集落の暮らしとたたら製鉄の関係

島根大学教育学部4年 松本 桃奈氏

【主催】 奥出雲町教育委員会・奥出雲町三沢公民館・三沢鉄穴流し研究会

【共催】 島根大学教育学部地理学研究室 (E-mail: hsakuno@edu.shimane-u.ac.jp)

【問合せ】 奥出雲町教育委員会社会教育課 (電話: 0854-52-2680)

奥出雲町三沢公民館 (電話: 0854-54-0331)

ちくらおろち湖ミソポジウム2015

基調講演

鳥取大学教育学専攻教授

作野広和

田舎が都会を支えるために

地域力を高める処方箋



パネルディスカッション

わたしの宝、地域の宝

奥出雲女子駅つくる委員会 三成由美

NPO法人布勢の郷 宇田川光好

株式会社職工研みずむ 高野明美

鳥取県境づくり支援センター 山本博子

2/8 日

十四時～十七時

参加無料

会場 奥出雲町布勢コミュニティセンター（鳥取県仁多郡奥出雲町馬馳13-4）

主催 ● さくらおろち田舎ツーリズム協議会・NPO法人さくらおろち（鳥取県雲南市水次町平田779-11・Tel.0854-48-0729）